

令和 7 年度 長野県図書館協会

定期総会 添付資料集

- (1) 第 74 回長野県図書館大会(須高大会)報告書・決算書
- (2) 信州横断「昭和・現代史」講座決算報告
- (3) 第 75 回長野県図書館大会ならびに第 33 回北信越学校図書館研究大会一次案内
- (4) 図書館協会・図書館大会あり方検討ワーキング資料
- (5) 新規事業の提案
 - 5-1 信州岩波講座との連携講演会
 - 5-2 宮下顧問提案
 - 5-3 ビジネスライブラリアン講習会への協力

第74回長野県図書館大会事業実施報告

大会実行委員会事務局

1 大会の概要

(1) 大会テーマ

「図書館という希望」

今こそ「読書のよろこび」「図書館の存在意義」を語り合おう！

(2) 期 日

2024年（令和6年）10月12日（土） 10:00～15:40

＊大学専門図書館部会 2024年10月4日（金） 14:00～15:30

＊高等学校図書館協議会 2024年11月7日（木） 13:00～16:30

(3) 会 場

【開会式・分科会】 須坂市立墨坂中学校

【実践事例発表・基調講演】 須坂市文化会館 メセナホール 大ホール

(4) 参加費 参加費(大会資料代を含む) 2,000円

＊講演会(午後)のみ参加 1,000円(実践事例発表を含む)

＊別日程の分科会のみ参加 1,000円

2 当日の日程

(1) 開会式

主催者あいさつ 長野県教育委員会 教育長 武田 育夫

(長野県教育委員会事務局生涯学習課長 市村由紀子 代読)

大会長あいさつ 長野県図書館協会 会長 伊東 直登

(2) 分科会

分科会名	発表者	会場 教室	参加 人数
①情報センターとしての図書館	中村仁志 (中野市立平野小学校)	第3 理科室	35
②司書の強い味方！ ～学校図書館実務マニュアル	中村典子 (長野県箕輪進修高等学校)	被服室	37
③読書感想文の未来はどうなる！？	宮坂ゆかり (須坂市立日滝小学校)	2の1	18
④ビブリオバトル～教育実践に学ぶ	島田浩幸 (小布施町教育委員会 栗ガ丘小学校)	2の3	21
⑤「デジとしょ信州」入門① 学校での活用	デジとしょ信州学校連携チーム 伊藤小夜乃(安曇野市中央図書館) 千川 優(県立長野図書館)	視聴 覚室	37

分科会名	発表者	会場 教室	参加 人数
⑥「デジとしょ信州」入門② 読書バリアフリー	デジとしょ信州 読書バリアフリーチーム 篠田尚利(松本中央図書館) 宮澤由利(県立長野図書館) 犬浦久美子(県立長野図書館)	3の1	9
⑦視覚障害者サービスの実践から	小山真菜美 (長野市立長野図書館) 須坂あかりの会	3の3	13
⑧公共図書館のSNS広報テクニク	矢ヶ崎文・中野友美(塩尻市立 図書館 企画・広報係)	3の5	31
⑨「おはなし」で子どもを育てる おはなしボランティアができること	須坂市子ども読書活動支援研究 会(4名)	図書館	27

(3) 昼食・移動

(4) 実践事例発表

ア「ICTを活用した 全校ビブリオトーク 『ビブリオレビュー選手権』」

須坂市立東中学校 図書館司書 坪井巧子

イ「長野県民の電子図書館「デジとしょ信州」を使ってみよう！」

市町村と県による協働電子図書館運営委員会

利用者支援・広報部会 部会長 平中和司(大桑村図書館長)

選書部会 部会長 棟田聖子(松川村図書館長)

(5) 基調講演

講 師 角野 栄子(児童文学作家)

演 題 「ものがたりの魔法」

(6) 閉会式

3 参加者人数 713人

参加者内訳

参加区分	参加者合計
分科会(終日参加)	228
講演会(午後)のみ	389
事例発表者・実行委員・当日スタッフ	96
計	713

4 アンケート集計(別紙資料) 150名(紙提出 108名、オンライン回答 42名)

5 まとめ

前回の松本大会を含めコロナ禍中はオンライン・サテライト会場も設けていたが、今回は顔を合わせて話をすることの有意義さを優先し、参集型に戻した。例年は基調講演後に分科会を行っていたが、講師の都合で講演会を午後とした。参加者はサブ会場の墨坂中学校と、メイン会場のメセナホールを移動しなければならなかったが、開会式を墨坂中学校の校内放送で簡略化して行うことで、参加者の負担を最小限にすることができた。

分科会は参加者が興味のあるテーマを選択できるよう9つ設定した。テーマの設定・発表者への依頼・準備運営などすべて須高支部で担当したため負担は大きかったが、参加者の活発な意見交換が見られ、久しぶりに対面で話せたことが楽しかったとの意見が多数だった。意見交換の時間が足りなかったという意見もあった。

午後はメセナホールに会場を移し、ホワイエでは角野先生のサイン入り著作や、作品にちなんだグッズの販売もあり、賑やかな雰囲気となった。

実践事例発表は2組に発表していただいた。東中学校の発表は、生徒の実践を動画で見せるなど工夫されており、大変好評だった。

講演会では児童文学作家の角野栄子先生を迎え「ものがたりの魔法」と題して、角野先生の生い立ちから作品を作る基礎となる体験、作品のエピソードなどをお話しいただいた。著名な作家のお話を直接聴けるまたとない機会となり、お元気なお姿を拝見して、来場者も感動している様子だった。

閉会式では、「おばけのアッチ」着ぐるみの登場で楽しい雰囲気のまま、次回開催地の佐久支部長から挨拶をいただき、盛大に終了することができた。



第74回長野県図書館大会 決算書

【収入の部】 (円)

科 目	当初予算額	補正予算	予算現額	決算額	比較増減額	説 明
負担金	340,000		340,000	340,000	0	長野県教育委員会 100,000 長野県図書館協会 200,000 長野県高等学校図書館協議会 40,000
助成金	0	60,000	60,000	60,000	0	上高井教育会研究大会助成 50,000 *予算議決後に歳入が決定 図書館協会小中部会 分科会 10,000 補助 *予算議決後に歳入が決定
参加費	400,000		400,000	902,000	502,000	2,000円 × 232人 1,000円×438人
雑収入	58		58	14	△ 44	預金利息
繰越金	193,942		193,942	193,942	0	前年度からの繰越金
計	934,000	60,000	994,000	1,495,956	501,956	

【支出の部】 (円)

科 目	当初予算額	補正予算	予算現額	決算額	比較増減額 (残額)	説 明
事業費	880,000	41,000	921,000	878,341	42,659	
報償費(講師)	300,000	30,000	330,000	330,000	0	講師謝礼
報償費(他)	80,000	2,000	82,000	81,808	192	要約筆記・手話通訳者謝礼
旅費	80,000		80,000	79,520	480	講師交通費
消耗品費	70,000		70,000	59,156	10,844	事務用品等
印刷製本費	240,000	△ 22,000	218,000	205,700	12,300	大会冊子・講演会チラシ印刷
食糧費	10,000	61,000	71,000	70,177	823	弁当・お茶・講師手土産 等
燃料費	0		0	0	0	
役務費	90,000	△ 30,000	60,000	41,980	18,020	郵送料・振込手数料等
委託費	0		0	0	0	
使用料及び賃借料	10,000		10,000	10,000	0	墨坂中学校会場使用料
予 備 費	54,000	△ 41,000	13,000	1,000	12,000	参加費返金 (1,000円×1人)
計	934,000	0	934,000	879,341	54,659	

	収入の部	¥1,495,956	
計			
	支出の部	¥879,341	
	差 引	¥616,615	次期開催地へ繰越(企画運営委員会指定口座残金)

監査報告

令和6年12月26日、県立長野図書館において、会計帳簿・証拠書類等すべてを監査した結果、適正に処理されていることを確認しましたのでここに報告いたします。

会計監事 山田 基幸

会計監事 槌賀 基範

令和6年度 信州横断「昭和・現代史」講座 決算報告

収入決算額	440,038 円
支出決算額	440,038 円
差引 残額	0 円

収入

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	増減	説 明
事業費	330,000	247,038	-82,962	公共部会予算
負担金	70,000	70,000	0	八十二文化財団共催負担金
受講料	0	123,000	123,000	映画会1,000×123名
合 計	400,000	440,038	40,038	

支出

科 目	予算額	決算額	増減	説 明
謝金	230,000	161,500	-68,500	
旅費	90,000	71,360	-18,640	
運営費	15,000	66,223	51,223	11/28映画会経費
使用料	4,000	84,700	80,700	広報紙用写真7,700 グランドシネマズ77,000
印刷費	50,000	53,375	3,375	広報紙制作印刷
通信費	11,000	2,880	-8,120	
合 計	400,000	440,038	40,038	

令和7年度 第75回長野県図書館大会(佐久大会)
兼 第33回北信越地区学校図書館研究大会
ご案内(一次案内)

このたび、第75回長野県図書館大会(佐久大会)兼第33回北信越地区学校図書館研究大会を開催することとなりました。

図書館は、生涯にわたって豊かな学びを支えます。知りたい、わかりたいという思いに応え、知的好奇心をみがき、学ぶ力を育みます。さらに、文化的な活動を通して人と出会う機会を提供し、ともに学び合うよろこびを生む場になります。豊かな学びを通して育まれた力は、主体的に行動し、他者と協力しながら、よりよい未来の創造に貢献するのです。

私達は、このような図書館の可能性を信じています。学校図書館、大学図書館、公共図書館が集まる今大会では、館種をこえて交流し、学びを支える図書館の活動や可能性について語り、考えます。

多数の皆さんがご参加くださいますようご案内申し上げます。

- 1 大会テーマ

豊かな学びを支える図書館 ～よりよい未来の創造に向けて～
- 2 期 日

令和7年 11月7日(金)～8日(土)
- 3 会 場

長野県佐久市
1日目 佐久市内小学校・中学校 佐久平交流センター
2日目 佐久平交流センター
- 4 主 催

長野県教育委員会 長野県図書館協会
北信越地区学校図書館連絡協議会 公益社団法人全国学校図書館協議会
- 5 共 催

佐久市教育委員会 長野県高等学校図書館協議会
公益社団法人信濃教育会 佐久校長会
- 6 後 援

文部科学省 新潟県学校図書館協議会 富山県学校図書館協議会
石川県学校図書館協議会 長野県市町村教育委員会連絡協議会

7 日 程

○ 11月7日(金)佐久市内小・中学校、佐久平交流センター

13:00	13:30	14:20	15:00	16:30	17:30	19:30
受付	実践活動公開	移動	開会式・全体会・全国SLA報告	北信越地区連絡協議会		

○ 11月8日(土)佐久平交流センター

9:00 9:30 12:00 13:00 14:30 15:00

受付	分科会	昼食	講演会	閉会式
----	-----	----	-----	-----

8 講演会講師 作家 石井 睦美 氏

9 実践活動公開 小中学校での実際の図書館に関わる活動の様子をご覧ください。

会場校 佐久市立臼田小学校 佐久市立中佐都小学校 佐久市立佐久平浅間小学校
佐久市立臼田中学校 佐久市立浅間中学校

10 分科会

図書館の3つの機能に対応したテーマで分科会を設け、各県よりいただくレポート発表をもとに討議を行います。

情報活動1、学習活動2or3、読書活動4or5で、7～9の分科会を予定しています。

11 参加費 2,000円

12 事務連絡

(1) 参加申し込み等は、最終案内(令和7年6月末予定)にてご案内いたします。

(2) 宿泊については、参加者各自でのご手配をお願い致します。

13 大会事務局(問い合わせ先)

第75回長野県図書館大会・第33回北信越地区学校図書館研究大会事務局

(佐久市教育委員会 社会教育部 佐久市立中央図書館内)

住所:長野県佐久市猿久保 44-1

電話番号:0267-67-2111

E-mail:75lib33hokushinetsu@city.saku.nagano.jp

【分科会に関すること】

長野県図書館協会佐久支部長(小諸市立水明小学校長)金井直樹

住所:長野県小諸市大字諸 101-1

電話番号:0267-22-0772

E-mail:koucyo@suimei.komoro.ed.jp

長野県図書館協会・長野県図書館大会のあり方検討チーム 進捗報告 (R7.7.1)

長野県図書館協会

① 検討チーム

(令和7年5月28日現在)
(敬称略、順不同)

通番	氏名	職	要領第3条 該当 ※	備考
1	伊東 直登	長野県図書館協会会長	(1)①	チームリーダー
2	林 尚江	長野県図書館協会副会長	(1)①	
3	依田 緑	長野県図書館協会副会長	(1)①	
4	森 いづみ	長野県図書館協会理事長	(1)①	
⑤	山口 美直	小中学校図書館部会長、須坂市立旭ヶ丘小学校長	(1)①	
⑥	峯村 八郎	公共図書館部会長、長野市立南部図書館長	(1)①	
7	武田 佳代	信州大学附属図書館副事務長(図書館サービスGL)	(1)③	大学専門図書館部会長指名
8	原 猛	県高等学校図書館協議会(赤穂高等学校)	(1)③	県高等学校図書館協議会事務局長指名
⑨	干川 優	県教育委員会事務局生涯学習課 主査	(1)③	生涯学習課長指名
⑩	藤井 篤徳	県教育委員会事務局学びの改革支援課 主任指導主事	(1)③	学びの改革支援課長指名
⑪	長谷川 松実	木祖村立木祖小学校長	(1)③	小中学校図書館部会長指名
12	牧野 優子	飯田市立飯田西中学校	(2)	
13	棟田 聖子	松川村図書館長	(2)	
14	文平 玲子	市立須坂図書館長	(2)	
15	米山 美保	長野市立松ヶ丘小学校	(2)	

※「通番」欄○印:R7年度新任

※ (1)①:図書館協会役員、(1)②:企画運営委員(職指定)、(1)③:図書館協会部会長・企画運営委員(職指定)の指名、(2):公募

活動報告

主な活動	活動内容
第1回ミーティング (R6.12.26)	検討チームのミッション、検討スケジュールなどを確認
アンケート (R7.1～2)	図書館協会、協会支部、図書館大会について、図書館協会会員等を対象に調査
第2回ミーティング (R7.3.13)	検討の論点を整理、図書館大会でのオンライン併用について検討 【第2回ミーティング議事録（抄）】 大会の目的や実行委員会の主体性を考慮しつつ、オンライン併用の方向で検討を進め、次回以降ミーティングで具体的な方策を議論する。特に、オンライン併催する場合の図書館大会の予算増額を検討し、財源確保のための具体的な提案を行う。
第3回ミーティング (R7.5.28)	図書館大会のローテーション、図書館協会の「指針」※改訂などについて検討 ※「指針」：H24（2012）策定『「長野県における図書館の現状と今後の方向」についての指針』
情報共有	【小中学校図書館部会】幹事会（5/29）、支部代表者会（6/12）
	【公共図書館部会】事会（5/1）、館長会議（総会）（5/23）
	図書館協会総会（7/1）、図書館大会企画運営委員会（7/2）

3

長野県図書館協会・図書館大会のあり方検討論点（案）

（長野県図書館協会・図書館大会のあり方について、以下の論点から検討）

I 長野県図書館協会のあり方	
1. 情報共有と連携の強化	・公共図書館と学校図書館の連携強化、自治体間のサポートの差の縮小などに向けて求められる方策 ・部会や支部間の情報共有の仕組みの整備
2. 研修機会の拡充と負担軽減	・図書館司書の資質・能力向上を支援する方策（初任者向けの研修やスキルアップ研修の充実 など） ・研修等の主催者・参加者双方の負担軽減のための方策（開催頻度の見直し、オンラインなど参加しやすい環境の整備 など）
3. 組織運営の改善と持続可能性の向上	・持続可能な組織運営に向けた方策（理事会や総会の透明性向上、組織体制強化、会員の意見を反映する仕組みの整備 など） ・支部活動の活性化に向けた方策
II 長野県図書館大会のあり方	
1. 持続可能な大会運営	・大会開催目的の再確認と共有による関係者のモチベーション向上 ・予算の効果的配分に向けた見直し
2. 運営体制の改善	・企画運営委員会と実行委員会の役割分担の明確化、実行委員会の負担軽減のためのサポート体制強化のための方策 ・支部（実行委員会）と企画運営委員会・図書館協会（事務局）との意思疎通改善のための方策
3. 開催手法の多様化と参加者の利便性向上	・オンライン活用の是非（遠方等参加者の利便性向上、効果的な活用シーン） ・開催形式の柔軟化（分科会の数や形式を柔軟に対応、開催地の事情に合わせた運営） ・デジタル活用（資料・パンフレット等のPDF化、メール配信 など）による経費削減、省力化

図書館協会総会への報告事項

「長野県図書館協会・図書館大会のあり方検討チーム」として、これまでの検討から出てきた方向性について以下のとおり図書館協会総会へ報告、内容確認

- ① 図書館大会でのオンライン併用については、大会実行委員会が希望すれば併用できるよう、図書館協会においてプラスアルファの予算措置されるとよいのではないかと。（令和8年度諏訪大会に向け、予算の捻出方法等については別途検討）
- ② 図書館大会のローテーションが、小中学校図書館部会の地区学校図書館教育研究会の順番に基づいて決定しているというあり方の見直しなども含め、少し時間をかけて議論すべきではないか、という意見が検討チーム内で出された。
- ③ 図書館大会運営マニュアル（仮称）については、令和8年度諏訪大会で活用できるよう優先して検討を進めることとする。
- ④ 「指針」※については、検討チームメンバーが自分の関係するところを中心に加除修正が必要な点について洗い出し、原案作成のたたき台としていく。作業が滞らないよう書面審議等も含め検討を進め、令和8年度中の改訂を目指したい。

※「指針」：H24（2012）策定『「長野県における図書館の現状と今後の方向」についての指針』

5

図書館協会への事業提案の取扱について

図書館協会への事業提案について、「図書館協会・図書館大会のあり方検討チーム」で意見照会中。

提案区分	提案者	提案内容	検討内容
研修内容	市立須坂図書館 文平館長	「信州岩波講座・高校生編2025」（R7.12.4開催、木下通子さん講師）と連携した講演会 → 図書館協会主催研修としての実施を提案 ※ 図書館協会理事会で報告済（3/26） ※ 予算：要（講師謝金のみ）。既存研修（ステップアップ研修）の枠組みの中で実施	- 来年度以降の研修・事業についての、提案から決定までの流れについて - 図書館協会への事業提案・実施における公平性の確保
新規事業	図書館協会 宮下顧問	長野県図書館協会20年史及び研究発表論文（テーマ（仮）：長野県150年と図書館）を冊子として来年度末に発行 ※ 図書館協会理事会で報告済（6/10） ※ 新規事業。予算：R7不要、R8要（実行委員会関連経費（旅費等）、印刷経費など。外部資金の活用を検討中。）	- 意欲のある提案を幅広く募集できるような仕組みのあり方 - 既存事業の枠組みに入れる場合とそうでない場合との区別 - 予算を伴う場合とそうでない場合との区別 - 図書館協会の関与の度合いに応じた取扱いのあり方
その他※	図書館協会 伊東会長	県内で開催される「ビジネスライブラリアン研修」（開催地：松本市（調整中）、主催：ビジネス支援図書館協議会）への協力 ※ 予算：不要	事業内容について ほか

※ その他：図書館協会の主催ではなく、共催・協力などの形での関与が想定される場合

6

スケジュール（見直し後）

協会あり方関係

図書館大会あり方関係

共通

年月 項目	R6年度										R7年度										R8年度												
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10					
検討チーム		立上げ（公募など）				第1回 ミーティング	第2回 ミーティング	第3回 ミーティング				第4回 ミーティング （大会マニュアル関係）				第5回 ミーティング （指針改訂関係）				第6回 ミーティング													
								検討（図書館大会）																									
								検討（指針見直し）																									
アンケート				内容検討			実施、まとめ			結果公表																							
協会指針 見直し														加除修正洗い出し 各部会等で意見交換			指針改訂作業 改善策（人的、予算的、など）検討																
図書館大会 運営マニュアル						須高大会 総括							図書館大会あり方見直し・大会運営マニュアル作成										協会支部の見直し （R9木曽大会に向けて）										
																			諏訪大会運営に活用				加筆修正										
（参考） 図書館大会			須高 （10/12）													佐久 （11/7,8）												諏訪					
その他										企画運営委員会 協会総会									企画運営委員会 協会理事会				企画運営委員会 協会総会										

長野県図書館協会 様

市立須坂図書館
館長 文平玲子

研修会のご提案

名残の雪も消え、身も心も、ようやく新年度に向け動きはじめました。

長野県図書館協会のみなさまにおかれましても、長かった今年度をふりかえり、ほんのすこしホッとしておられることと拝察いたします。

さて、須坂市は、岩波書店、信濃毎日新聞社とともに「信州岩波講座」を開催し、25周年を迎えますが、その高校生向けの講座が「信州岩波講座・高校生編」です。

「高校生編」は、2019年から、須坂市の3つの高等学校の年間行事に位置づけられ、毎年12月の第1木曜日、須坂市文化会館メセナホール(大ホール)に、3校の1・2年生が一堂に会して聴講しております。「これを聴いて大人になれ！」と、巣立っていく若者たちの糧となるようなテーマや講師をみつけるのは、信州岩波講座実行委員会にとりましても責任重大。毎年、頭を悩ませているところです。

来る12月4日(木)におこなわれます「信州岩波講座・高校生編2025」の講師に、埼玉県立高校の学校司書として広く活躍してこられました、「みちねこ」さんこと木下通子さんをお迎えすることになりました。「図書館は出会いの場」「読書は一人アクティブラーニング」とおっしゃる木下さんの対話型講演会で、信州須坂の高校生の「読みたい心」に火をつけていただきたいと願っております。

今、学校教育では「探究学習」が注目を集めています。「探究学習」とは、受け身の学習から転じて、疑問や課題を自ら解決しようとする力を磨いていく主体的な学びです。ご著書『知りたい気持ちに火をつけろ！ 探究学習は学校図書館におまかせ』のタイトルが示すとおり、木下さんは、これまで学校図書館から支援しつづけてこられた、「探究学習」のエキスパートです。

先ごろ、須坂高校の探究活動を、小館をはじめ、近隣の公共図書館のみなさまにもお手伝いいただくということがあります。木下さんのご講演は、当日、引率される高校の先生がただでなく、小・中学校の先生 & 学校司書、図書館関係者のみなさまにも、さぞやご興味がおありと拝察いたします。が、当日、会場は高校生で満席で、見学していただくことはできません。

そこで、木下さんに、「高校生編」終了後の夕刻、先生や学校司書向けのご講演をお願いし、「研修」とするのはどうだろうという話が浮かびました。そのままメセナホール(小ホール)(300名収容)を使えば、会場費や駐車場の心配もありません。講師の交通費 & 宿泊費は、信州岩波講座実行委員会が負担しますので、必要経費は木下さんのご講演料のみとなります。

学校図書館を使った「探究学習」のノウハウは、今、私たちが最も聴きたいテーマではないでしょうか。須高地域の小さな研修会にとどまらせるのもたいへん惜しいことから、長野県図書館協会の新年度の研修のひとつに加えていただくなどできれば、学校図書館部会のみなさまのお役にもたてると考え、このような提案をさせていただきました。ご検討、よろしくお願いいたします。

講師プロフィール

木下通子(きのしたみちこ)●社会教育士。現役の高校司書として働きながら、「みちねこ」として、本と人をつなげる活動を展開してきた。学校、社会教育施設、書店の枠を超えて、ビブリオバトルや読書に関するワークショップをおこなっているほか、YouTubeチャンネル「みちねこラジオ」等で活躍中。

著書●『読みたい心に火をつけろ！ 学校図書館大活用術』(岩波ジュニア新書 2017)、
『知りたい気持ちに火をつけろ！ 探究学習は学校図書館におまかせ』(同 2023)

→ 今年度で埼玉県職員を勇退されるため、新たなプロフィールを確認中です。

信州岩波講座実行委員会 高校生編担当
市立須坂図書館 館長 文平玲子
〒382-0911 須坂市大字須坂803-1
TEL:026(245)0784
FAX:026(245)4313
reiko.fumihira@city.suzaka.nagano.jp

【提案事業】（新規事業）

1 長野県図書館協会 20 年史の作成

2 長野県の図書館の歴史についての調査・研究

- ※ 長野県発足 150 年関連事業として実施
- ※ R7 年度は検討・周知期間とし、R8 年度事業として実施する。
- ※ 経費については、外部資金（補助金等）の活用を検討中

1 長野県図書館協会 20 年史（2005～2025）

(1) 章立て（想定）

- ① 長野県図書館協会の刷新と新たな創造
- ② 本会の活動①
- ③ 本会の活動②－市民講座・集会文化事業の展開
- ④ 本会の活動③－出版事業・その他
- ⑤ 図書館大会
- ⑥ 各部会活動
- ⑦ NPO 長野県図書館等協働機構の設立と信州地域史料アーカイブ
- ⑧ 今後の方向

(2) 経費

(1)の内容を冊子にまとめ発行するための印刷経費

2 長野県の図書館の歴史についての調査・研究

（仮題：長野県 150 年と図書館の過去から未来へ）

(1) 趣旨

長野県発足 150 年事業に位置付け、長野県図書館協会ははじめ県下の関係団体と共に、R7～8 年度の 2 か年事業として長野県の図書館の歴史について調査・研究するとともに、現状から未来を展望する。

(2) 事業主体

（仮称）長野県 150 年と図書館一企画・実行委員会（長野県図書館協会）

(3) 事業内容

① 調査・研究

長野県 150 年の中で図書館の歴史・発展過程について、図書館職員の調査・研究意欲を高めるとともに、図書館職員、研究者、市民の調査・研究論文につて、県下 4 ブロックから公募する。

<事例（私案）>

例 1. 旧藩の文庫と長野県の図書館の歴史－高遠藩進徳館の蔵書の行方

例 2. 保科五無斎と信濃図書館、県立長野図書館設置の経過 ほか

② 発表会

上記研究論文の発表会とシンポジウム・記念講演会を併催

R8 年夏～秋に県下 4 ブロックで連続開催

③ 冊子発行

上記①の記録を冊子にまとめ「長野県図書館協会 20 年史」と共に発行

(4) 経費

① R7 年度 不要

② R8 年度

ア 実行委員会関連経費（旅費等） イ 冊子印刷経費

長野県図書館協会 伊東会長提案（概要）

提案事業：長野県内で開催されるビジネスライブラリアン講習会への協力

1 提案趣旨

令和8年度、松本市で「ビジネスライブラリアン講習会」が開催される企画が進められています。地域に役立つ図書館づくりに向けた内容で、すでに24回が行われ700名以上の修了生が全国で活躍しています。レファレンスサービス、図書館サービスの企画、先進事例等々、多数の著名講師陣による質の高い講習が行われます。

地方開催が地元長野県で行われることはたいへん稀な機会であり、旅費がほとんどかからないメリットを生かし多くの皆さんが参加していただきたいと思います。

研修費の予算化が必要な市町村は今年度の対応が必要となりますので、開催が決定して以降、県図書館協会を通じて呼びかけを行っていただきたいと考えています。

2 図書館協会における実施内容（案）

受講生募集の広報など、全県的な参加者増に向けた協力
（予算：不要）

3 ビジネスライブラリアン講習会について

<https://www.businesslibrary.jp/category/activity/subcommittee/blcourse/>

(1) 実施主体

ビジネス支援図書館推進協議会

全国の公共図書館でビジネスを支援するサービスが始まることを目的として活動。図書館職員を対象とした研修会の開催、ビジネス支援に関する調査・研究、図書館及び利用者への啓蒙活動等を主な事業として実施。

(2) 講習会の内容（地方開催（R5・大阪）の例）

・ オンデマンド講習（11 講習）

ビデオ動画、PPT に音声や動画を入れたコンテンツによる講習

・ ワークショップ（グループ単位のディスカッション）

グループによる企画、資料作成、発表

・ オンライン講習（12 講習）

ライブでの講義・討議を取り入れたリアルタイムの講習

・ 集合講習（11 講習）

会場に集まって行う 1 泊 2 日の講習

・ 最低実施人員 20 名

(3) 受講料（受講者負担）

40,000 円（令和7年度から）